

浅田彰

photographs by Hiroshi Takaoaka text by Kentaro Matsui

憂国呆談の対談の前日、浅田氏が緊急入院！
幸い大事に至らず、お見舞いに訪れた田中氏も安堵。
病状を尋ねながらも、いつしか話題は国際情勢に。
右傾化する日本を取り巻く世界の目が厳しさを増すなか、
2014年の曲がり角、日本は右へ、左へ？ それとも？

今月の憂いゴト
マンデラ氏の追悼式から、
安倍首相の靖国参拝、
ケネディ駐米大使の役割、
『あまちゃん』の女性像まで！

田中康夫

憂

憂国呆談

season 2 VOLUME 44

マンデラ元大統領の追悼式に、安倍首相はなぜ出席しなかった？

田中 浅田さん、大丈夫？ 救急搬送と聞いて驚いたよ。

浅田 自分でも驚いた。E.T.Vの「スコラ坂本龍一音楽の学校『20世紀の音楽』編」(3月13日から放送予定)の収録中に、とつぜん不整脈による低血圧で卒倒。NHK側はすぐ収録を中止して救急隊を呼んでくれたんだけど、「心残りなく病院に行きたいんで、リスクについては個人的に責任をもちから最後まで収録を続けさせてくれ」ってわがままを聞いてもらった。むろん最後まで坂本龍一よりははるかに滑舌よく話したはずだけどね(笑)。

田中 いやあ、相変わらずの浅田節で安心したよ(苦笑)。でも倒れる前に自覚症状はなかったの？

浅田 1月3日に京都ー東京を新幹線で往復したとき、有楽町の火事でダイヤが大幅に乱れた、それを乗り切ろうと思いい、元気のつくドリンクと間違えて覚醒作用のあるドリンクを飲んだのがいけなかったのか、睡眠パターンが乱れて睡眠不足が続き、ひどい不整脈になったわけ。

最初に担ぎ込まれた広尾の日本赤十字医療センターでは、T.Vドラマに出てきような若い医師たちのチームがてきぱき動き、率直な討論を重ねて、「W.P.W症候群による不整脈の疑いが強い、近くの都立広尾病院がその根治療法の実績を積んでいるからこの際それを受けるべきだ、不安定な状態のまま京都に帰ることは勧められない」って結論を速やかに導いてくれた。それに従って広尾病院に転院してきたわけ。現代の救急医療はこうあるべきだっていうお手本を

見せてもらった感じ。心臓を鼓動させる電気信号は洞結節から心房をへて心室へ流れるんだけど、その伝達経路に変なバイパス(副伝導路)ができる、電気信号が輻輳し、フィードバック(リエントリー)によって心房細動が起こったりする。血管から複数のカテーテルを入れてそのバイパスをピンポイントで特定し、焼灼して遮断するってのが、ぼくが広尾病院で受けるカテーテル・アブレーション。現代の医療はすごい！(対談後、治療は成功裏に終了)。

田中 それにしても、ご無事で何より。僕は知事時代に膀胱全摘除術・回腸新膀胱造設術という膀胱腫瘍の手術で3週間、議員時代に左脚の人工股関節全置換術で2週間。その他にも蜂窩織炎やら鼠径ヘルニア、正中頸嚢胞と入院のデパート状態で、全身麻酔も10回は経験しているから慣れっこだけど、新鮮な体験だったでしょ。

浅田 ご心配をかけて申し訳ない。ところで、心残りといえば前号で、昨年亡くなった南アフリカ共和国のネルソン・マンデラ元大統領のことを話してあげたね。田中さんはアパルトヘイト時代に南アを訪れているいろいろ見てきたわけだけども……。

田中 バラク・オバマ大統領をはじめ、各国の首脳が12月10日の公式追悼式に参列するなか、残念ながら安倍晋三首相は欠席した。他方で「マンデラ氏は民族間の対立解消に努め、平和裏に新しい民主的な礎を築いた人物」と天皇と皇后は語り、外国の王室関係者以外の葬儀や追悼式に日本の皇族としては初めて皇太子が参列するのを希望したと報じられた。日本がホスト国だったASEAN特別首脳会議は13日から、実



際に皇太子と福田康夫元首相は11日夜に帰国しているから物理的にも十分に可能だったのに、どうして周囲が進言しなかったのかなあ。それを指摘しない日本のメディアも鈍感だ。ナイジェリアと並んで、アフリカ中部の主要国なのに。

浅田 スロヴェニアの精神分析理論家スラヴォイ・ジジエクが例によって皮肉を利かせて書いているのが面白かった。たしかにマンデラは偉大なんだけど、ある意味でずるくもある。アパルトヘイト(人種隔離政策)を打倒して革命を成し遂げ、その絶頂で1期だけ大統領を務めて潔く身を引いた。だけど、革命で本当に大変なのは2期目から。マンデラは人種解放は成し遂げたにせよ、その後、経済の成長と不平等の解消を実現することはできなかった。最初は社会主義的政策も掲げてたものの、ダヴォス会議でグローバル資本主義の受け入れへと転向、それでも経済はよくならず、富裕層と貧困層——とくに貧しい黒人と

の格差は開く一方。後継大統領もぜんぜんダメで、国民は豊かにならないし、それに基づくはずの民主化も進まない。むろんマンデラ一人の責任じゃないけどね。

田中 おっしゃるとおり。黒い噂が絶えない現職のジェイコブ・ズマ大統領には頭を抱えてしまうよ。僕が写真家の立木義浩と一緒に南アを3週間訪れたのは1986年3月。肌の色の違いで参政権を与えないアパルトヘイトという不条理はまだ撤廃されていなかったけど、白人と黒人が同じ映画館や同じバスを利用できるようになったり、過渡期だった。南アフリカの黒人は9つの部族に分かれていて、ズールー族の家政婦

とコーサ族の庭師といった異なる部族どうしは同じ白人の家で働きながら話もしないほど仲が悪かったりする。アパルトヘイトという大文字が廃止されたら、小文字の部族で部族間のいがみ合いになるだろうなと思った。果たせるかな、今のズマ政権の下での内紛が生まれてしまった。

もともと、南アフリカにはホットtentトと呼ばれるコイコイ人しか住んでいなかった。そこにオランダやイギリスから白人が入り住むこととなった。「南アフリカ人」と言っても多様なんだ。なのに日本のメディアは「白人は過去、黒人は未来」と逆アパルトヘイトな二元論で語っていた。帰国後にシンポジウムに出席したら、とある女性キャスターが「南ア産のワインを飲まないことが私のせめてものレジスタンス」だと胸を張って発言していた。ワインリーの経営者はオランダ系白人かもしれないが、その畑で汗水流して働いているのは黒人であって、ワインが売れなくなったら彼らの仕事もなくなってしまうんだから。そんな簡単な話じゃないってこと。

浅田 田中さんが訪れた数年後に南アフリカ初の黒人大統領としてマンデラ政権が誕生し、アパルトヘイト撤廃を実現したわけだ。他方、アメリカでも50年前のケネディ大統領暗殺事件のとき半世紀後に黒人が大統領になつてるとは想像もつかなかった、それがオバマで現実になった。また、性差別、さらには性的マイノリティ差別の解消もずいぶん進んだ。日本はそういう面で鈍感すぎる。2月に開幕するソチ五輪でも、ロシア政府が同性愛者の弾圧を強めたのに反発して世界的にボイコット運動が広がっているのに、日本では「日本チームがんばれ」

の一本槍。ただ、問題は、人種差別や性差別の解消についていうシンボリックな政治が世界的にこれだけ強調される、それは肝心のリアルな経済構造を変えられない代償とも言えるってことなんだよね。

田中 冷戦時代、プラチナを安定供給できるのはソビエトと南アフリカだけで自動車の触媒に不可欠だから、その確保のために南アでの販売台数は少ないのに日本のメーカーもダイハツに至るまでノックダウン生産の工場を置いていた。ところが、ヨハネスブルク近郊の山手線内と同じ面積の黒人居住区ソウェトにある職業訓練学校の玄関にはロイヤルダッチシェルやIBMといった資金援助した企業名が掲げられているのに、日本企業の社名は一つもなかった。ビジネスは認めるがアパルトヘイト政策を続ける南アへの支援は控えよと二枚舌な日本政府の方針だった。

そういうレベルの国だから、マイノリティ差別に対する意識もいまだに低いんだね。

浅田 オバマだってアメリカ初の黒人大統領として歴史に名を残すだろうけど、経済はほぼウォール街の言いなり。マイノリティ差別撤廃に関する発言が増えているのも、そこから目をそらすためと言えなくもない。そんなオバマや他の首脳たちの追悼式典での演説を、インテキ手話通訳がまるで無内容な手話に訳したんだけど、ジジェクはあれは実は正しい訳だって言ってるの。オバマら各国首脳は、本当は南アフリカが経済的・政治的苦境から脱するのを助ける具体的なヴィジョンを打ち出すべきところ、それができないから、ただ美辞麗句を並べてマンデラの偉大さを褒め称えるだけだった、

その空疎さをあの手話通訳は正確に表現したんだ、と(笑)。

田中 なるほど、それは卓見だ。まさに大文字の差別を改善した後にこそ、無数の小文字の改善が求められているのだから。プラチナを南アから調達しながら、誰も肯定できない大文字のアパルトヘイトを全世界が批判していたのも、裏を返せば、自国内の「差別」や「格差」から目をそらさせるためだと当時、書いたのを思い出した。

靖国参拝に対する米国のコメント、「disappointed」の意味は？

田中 昨年末には安倍首相が菅義偉官房長官らの制止を一蹴して靖国神社を参拝し、アメリカは「失望＝disappointed」という強い言葉で声明を発表した。

どこの国でも外国首脳は「無名戦士の墓」に献花するのが普通だから。(浅田)

浅田 期待を裏切られたって意味が込められた、外交的には厳しい言葉だね。

田中 なの当事者の日本側は、「失望」を表明したのは駐日大使館でホワイトハウスではない、その後の会見等では「失望」を用いてない、揚げ句、共和党



浅田 彰
あさだ・あきら●1957年兵庫県生まれ。
京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学教授。
83年に出版されたデビュー作『構造と力―記号論を超えて』はベストセラーに。



政権に戻れば解決すると言いつつ出ずなんて、親の心子知らずというか同盟国の憂慮に馬耳東風というか、大丈夫かね、日本は(涙)。

「参拝するなと(中韓両国から)言われたら逆に首相は参拝すべきだ」と10年近く前には公言していたリチャード・アーミテージが「首相の靖国参拝は、これまで積み上げてきたものをすべて壊す衝撃がある」と10月の来日時に自民党幹部に忠告したのは前々回に話したけど、彼はジョージ・W・ブッシュ政権で国務副長官だった人物。アメリカの総意なんだよ。その彼が「もう終わったことだ」と1月8日に述べたから一件落着と日本のメディアは報ずるのだから、いやはやだ。もはや起きたことは覆水盆に返らずで仕方ないが、今後は経済政策に集中せよという意味なのね。中韓両国と同じ感情的土俵に乗らずに「日本よ、大人になりなさい」という助言が聞こえないのか、と慨嘆してるんじゃないかな。

浅田 そう、1978年のA級戦犯合祀後は天皇も参拝してない靖国にあえて参拝するっていう無意味な挑発は、結局、中国や韓国の反日派を喜ばせ、東アジアの緊張を煽るだけ。そもそも、安倍政権は「戦後レジームからの脱却」を掲げてる、これは国内的には「占領軍に押しつけられた憲法を改正する」ってこと

だろうけど、世界的には「日独伊の枢軸国に勝った米英仏ロ中の連合国(＝国連)の支配体制から脱却する」ってことで、そこまでいくと米中を同じ立場に立たせちゃうわけよ。そういう大それたことを言ってるってことがわかってるのかな、安倍は。

田中 つまりヤルタ・ポツダム体制に基づく「日本国との平和条約」＝サンフランシスコ講話条約を破棄する話だ。そんなちやぶ台返しは、全世界を敵に回す展開で、イタリヤもドイツも賛成するはずがない。しかも10月の来日時にジョン・ケリー国務長官とチャック・ヘーゲル国防長官が官邸に赴く直前、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で献花した深意を、どうしていまだに日本の半数以上の国民は理解できないんだ？

浅田 靖国には天皇のために戦死した官軍兵士しか祀られてない。西郷隆盛を含め、賊軍兵士は一人も祀られてないし、日本のために死んだ外国人兵士も祀られてない。他方で、死刑になったA級戦犯をこっそり合祀しちゃったわけだ。どうみてもひどく偏った施設だよ。1965年に鎮霊社っていう小さな社ができて、それ以外の内外の死者も祀るようにした、安倍はそこにも参拝し、不戦の誓いを新たにしたらアライバイ的な付録にすぎない。

田中 アーリントン国立墓地にも南北戦争時の南軍兵士が埋葬されているじゃないかと反論する面々の意見ね。だけどアーリントンは宗教色のない墓地で、敷地内に奴隷制度や朝鮮戦争、ヴェトナム戦争の正当性を主張する資料館があるわけもない。アーリントンで会おう」と誓って戦闘に出かけた米兵士はいない、と辰巳由紀というステイムソン・センターで研究員を務める女性が

「靖国参拝を米国が許容できない理由 日米の認識のギャップ」と題して、なんとJRR 東海の月刊『ウェッジ』のサイトに寄稿してたよ。まあ、陸軍長官として原爆投下の判断を下したヘンリー・スティムソンの名前を冠したシンクタンク在籍なのも悩ましいけど(苦笑)。

浅田 そう、どこの国でも外国首脳は「無名戦士の墓」に献花するのが普通だから。

どうせ偽善でいくなら、安倍首相とキヤロライン・ケネディ米大使が一緒に広島を訪れて原爆慰霊碑に花を手向け、「来年はオバマ大統領にも来てほしい」って言わせるくらいの演出をやればいいのに。さらには、1999年にやっと広島平和記念公園内に移築された韓国人原爆犠牲者慰霊碑にも詣でて、「来年は朴槿惠大統領も交えてみんなここで祈りたい」って言えばいいんだ。

そもそも、安倍政権はナシヨナリズムと対米従属って矛盾を抱えてるわけだけど、各々がさらに矛盾を抱えてる。実際、安倍が奉る天皇・皇后は、2001年に「私自身としては、桓武天皇の生母が百済の武寧王の子孫である」と、続日本紀に記されていることに、韓国とのゆかりを感じていま「す」って言った、あの頃から、立憲主義の原則からするといささか問題じゃないかと思えるくらい、アジア諸国との融和の強調と平和憲法の擁護に傾斜してる。去年の天皇誕生日でも「戦後、連合国軍の占領下にあった日本は、平和と民主主義を守るべき大切なものとして、日本国憲法を作り、様々な改革を行って、今日の日本を築きました。(中略)また、当時の知日派の米国人の協力も忘れてはならないことと思います」と。安倍は右翼のくせにその「大御心」がわからないのか(笑)。他方、安倍がと

くに中国に対する抑止力として依存するアメリカは、日本が中韓と無意味な緊張を高めるのを嫌ってる。その「親心」がわからないのか。

田中 戦勝国の米国でなく、敗戦国の日本を主語として天皇は戦後憲法の制定を語り、その平和憲法制定に尽力した知日派の米国人にも謝意を表しているんだよ。日米同盟を深化させたいと言いながら、ロシア、EU、シンガポールやインドにも不快感を表明させ、中韓を勢い付けさせる展開を自ら引き起こし、敵に塩を送るどころか周囲にも塩を擦り込む行為に拍手喝采する面々は、天皇と米国の憂慮に耳を傾けないのだから、世が世なら不敬罪を適用しないと(涙)。

浅田 冗談はさておき、天皇とアメリカが護憲の盾だって状況はどうかしてる。原発問題もそう。天皇が統治者だった時代は田中正造のような直訴に意味があったにせよ、いま国会議員として政治を動かす立場の山本太郎が政治に関与しない天皇に直訴するなんて話が逆だよ。あるいは、野党じゃなく小泉純一郎と細川護熙が反原発を象徴するっていったい……。

女優をオバサンとして「再生」した、「あまちゃん」に見る女性像。

浅田 日本の幼児性は去年大ブームを巻き



天皇と米国の憂慮に耳を傾けぬとは、世が世なら不敬罪を適用しないと(涙)。(田中)

起こした「あまちゃん」にも見られるね。ぼくはほとんど見てなかったんだけど、脚本家の宮藤官九郎が腕達者な職人であるのは、トラウマがどうかというドロドロした話が満載の石田衣良の「池袋ウエストゲートパーク」を、誰もが笑ってみられる

軽快なコメディに仕立ててみせた頃から明らか。

ただ、あそこでは「面倒くさい」存在としての女がひとつの焦点だったのに、その後ほだいたい男(の子)たちが遊ぶのを母親代わりの女が見守るっていう日本的な図式に傾斜していく。そこには、一方で「女」を感じさせないほどかわいいた能年玲奈、他

方で「女」であることをあきらめて誰からも愛される「オバサン」になった元アイドルとしての小泉今日子や薬師丸ひろ子しかない。本来は齢を重ねていく女優を女性として輝かせるのが演劇人や映画人の腕の見せ所だと思うんで、たとえばフランスのヌーヴェル・ヴァーグの監督たちはジャンヌ・モローでもカトリーヌ・ドヌーヴでも堂々たる女性に仕立て上げたのに対し、日

本ではどうもそういう女優が育たない、むしろ、「面倒くさい」女であることをあきらめて「オバサン」になったらみんなに愛されるっていう嫌な傾向がある。

クドカンは優秀な職人で、NHKの要求を見事に満たしたのは確かだけど、真の女性性を拒絶する社会を助長するような気もするな。

田中 カール・マルクスが言うところの、「巨大なる商品集積」としての資本主義社会で、すべての存在が消費されていく中で、そういう再生の方法を取らざるを得ないってことなんだね。俳優を育てる映画ではなく、テレビという「巨大なる消費機構」の世界で消費された商品をリサイクルして次のかたちで見せるという。その手法として、おばちゃん化がある。

浅田 主役を演じた能年玲奈は言うことのない可愛らしさで国民的アイドルになったけど、裏を返せば女性としてのセクシーさを感じさせないし、インタビューでも自分の言葉で話せない。先輩役の福士蒼汰も同じ。他方、彼女の親友を演じた橋本愛は、不幸に裏打ちされたセクシーな魅力を発散してたけど、それは苦悩を持たない能年玲奈を引き立たせる暗い鏡でしかない。

田中 久方振りに高視聴率だった紅白歌合戦の中で、アキとユイが初デュエットした「潮騒のメモリー」の2番を天野春子役の小泉今日子が歌ったのも、クドカンの発案だったのかな。だとしたら、なかなかだね。元アイドル歌手の彼女が「歌手」としてNHKホールでのステージに立つのではなく、『あまちゃん』そのものの復活劇を紅白に持ち込み、ドラマの出演者として実況中継の形で歌うことで彼女のアイデンティティも保たれたのだから。



田中康夫 たなか・やすお ●1956年東京都生まれ。一橋大学法学部卒業。大学在学中に『なんとなく、クリスタル』で文藝賞受賞。長野県知事、参議院議員、衆議院議員を歴任。